



夏期開園は11月3日(土・祝)までとなります。
開園時間は午前9:30~午後5:15(入園は午後4:00まで)となっております。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

シマフクロウ (6 / 9 撮影)



4月に孵化したシマフクロウのヒナ2羽が5/31と6/3に巣立ちました。まだ、大人の羽にはなっていませんが、だいぶ大きくなったのがわかります。シマフクロウは夫婦で子育てをします。もうすぐ親からエサを与えられなくなる日がやってきます。

エゾシカ (6 / 11撮影)



6/8、エゾシカの赤ちゃんが誕生しました。母親はペベ子。生まれてすぐ立って歩くことができる赤ちゃん。普段は母親と離れ、物陰に隠れていることが多いですが、生後1か月ぐらまでは、母親の乳を飲んで育ちます。

トナカイ (6 / 11撮影)



昨年、一昨年に続き今年もトナカイの和香が5/15に出産。赤ちゃんはメスで「ピコロ」という愛称になりました。生まれて1か月以上たち、放飼場内を駆け回っていますが、まだ母親に寄り添っていることがあります。

赤ちゃんやヒナが、いっぱいです!

子育てや成長の様子を観察できます!

マガモ (6 / 13撮影)

6/5の6羽からはじまり、6/7には22羽にまで増えたマガモのヒナ。マガモなどのヒナは、孵化してすぐお母さんについて歩き、お母さんに守られ、成長していきます。「とどりの村」ではカルガモも抱卵中。今年の「とどりの村」は、にぎやかにな夏を迎えそうです。



「北海道産動物舎」では、クマタカ(両生類・は虫類舎側)が4/4に産卵、5/22にヒナが生まれました。クマタカは夫婦でエサを運び子育てをします。巣が高い場所にあるので姿は見えないですが、ヒナの声は聞こえますよ。

クマタカ (6 / 17飼育担当撮影)



「ペンギン館」では6/7にイワトビペンギンのヒナが孵化しました。子育ては夫婦交代で行います。屋内放飼場の奥の、石を積み上げてつくられた巣で子育てしていますよ。ほか「ペンギン館」ではキングペンギンが抱卵中です。



イワトビペンギン (6 / 16飼育担当撮影)

※鳥類の成長はとても速いので
紹介の写真とは姿が異なります

「おりがみえほん」の新作は「フタ」です

動物図書館で発行している「おりがみえほん」に先日、新作が登場しました。折るのは、第2こども牧場にやってきた「フタ」です。「おりがみえほん」は、動物の顔を折り紙で折って、台紙に貼ることで、一冊の本になるものです。新作の「フタ編」では、フタの特徴や家畜としてのフタの役割がわかるようになっています。ぜひ作りにきてくださいね。



動物も植物も
夏は何かにぎやかです!
東門の階段脇には色鮮やかなハマナスやエゾスカシユリが咲き、園内ではヒナや赤ちゃんなど、新しい命でにぎやかです。生まれ方も子育てもお母さんについて行くマガモのヒナ、生まれてすぐ立つて歩くことができるエゾシカ、トナカイの赤ちゃん、あんな程度大きくなるまで両親に育てられる猛禽類やペンギンのヒナ…。この時期は「生きる機会だ」と感じられます。ぜひ観察してみてくださいね。エゾユキウサギの毛も、夏色の茶色に変わりましたよ。

これからのイベント 7/1(日) 51回目の開園記念日

- 7月
 - 7月のワンポイントガイド 8(日)、15(日)、16(月・祝)、22(日)、29(日)
 - 絵本の読み聞かせ(動物図書館) 7/14(土) 11:00~
 - 小学校5・6年生対象のサマースクールの参加募集は7/20(金)まで
 - 詳細はホームページをご覧ください
- 8月
 - サマースクール 8/1(水)~3(金)
 - 8月のワンポイントガイド 5(日)、11(土・祝)、12(日)、19(日)、26(日)
 - 絵本の読み聞かせ(動物図書館) 8/11(土) 11:00~
 - 夜の動物園は8/10(金)~16(木)

「命」のお知らせ

旭山動物園で誕生・来園・死亡した動物をお知らせします。



6/13、チンパンジーの「ニコル」が死亡しました

3月に生まれたチンパンジーの「ニコル」(メス)が6/13、強い衝撃を受けたことによる「頭蓋骨陥没による脳内出血」が原因で死亡しました。同じ群れに属する青年期に入ったオスが「ニコル」に興味を持ち、抱いていたときに扱いが乱暴になり、「ニコル」の頭部を壁などにぶつけてしまう行動をとっていたことが要因と考えられます。「ニコル」の成長、5年ぶりの出産となる母「チロ」の子育ての様子を楽しみにしていただけに、大変残念なできごとでした。

←スカイブリッジの上で母「チロ」と過ごす「ニコル」